

2026年4月期 第3四半期

決算補足説明資料

2026年3月 株式会社 伊藤園



自然が好きです。

2026年4月期 第3四半期 (連結・単体)

第3四半期 累計(2025年5月～2026年1月)

(単位：百万円)

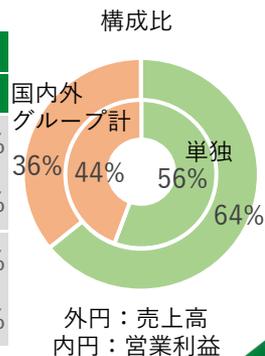
	2025年4月期	2026年4月期			
	実績	実績	増減額	増減率	
連 結	売上高	360,893	379,477	18,584	5.1%
	売上総利益	136,159	135,495	△ 663	-0.5%
		37.7%	35.7%	-2.0%	
	広告宣伝費	9,587	8,838	△ 749	-7.8%
		2.7%	2.3%	-0.3%	
	運送費	11,100	11,780	680	6.1%
		3.1%	3.1%	0.0%	
	減価償却費	4,741	4,976	234	5.0%
		1.3%	1.3%	-0.0%	
	販売費及び一般管理費	118,350	119,528	1,177	1.0%
	32.8%	31.5%	-1.3%		
営業利益	17,808	15,967	△ 1,841	-10.3%	
	4.9%	4.2%	-0.7%		
経常利益	18,255	17,197	△ 1,058	-5.8%	
	5.1%	4.5%	-0.5%		
特別損益	△ 381	△ 15,012	-	-	
当期純利益	11,367	△ 88	△ 11,456	-	
	3.1%	-0.0%	-3.2%		

	2025年4月期	2026年4月期			
	実績	実績	増減額	増減率	
単 独	売上高	256,087	261,588	5,501	2.1%
	売上総利益	86,676	83,056	△ 3,620	-4.2%
		33.8%	31.8%	-2.1%	
	販売費及び一般管理費	75,898	74,280	△ 1,617	-2.1%
		29.6%	28.4%	-1.2%	
	営業利益	10,778	8,776	△ 2,002	-18.6%
		4.2%	3.4%	-0.9%	
経常利益	12,824	11,712	△ 1,111	-8.7%	
	5.0%	4.5%	-0.5%		
当期純利益	8,909	△ 888	△ 9,797	-	
	3.5%	-0.3%	-3.8%		

グループ会社の業績・グループ全体の収益構成比

第3四半期 累計(2025年5月～2026年1月) (単位：百万円)

	2025年4月期	2026年4月期		
	実績	実績	増減率	
上段：売上高				
下段：営業利益				
グ ル ー プ	国内グループ	92,073	91,430	-0.7%
		4,770	3,854	-19.2%
	海外グループ	43,922	54,985	25.2%
	2,535	3,138	23.8%	



2026年4月期 第3四半期 (グループ会社) 伊藤園

自然が好きです。

第3四半期 累計 (2025年5月～2026年1月)

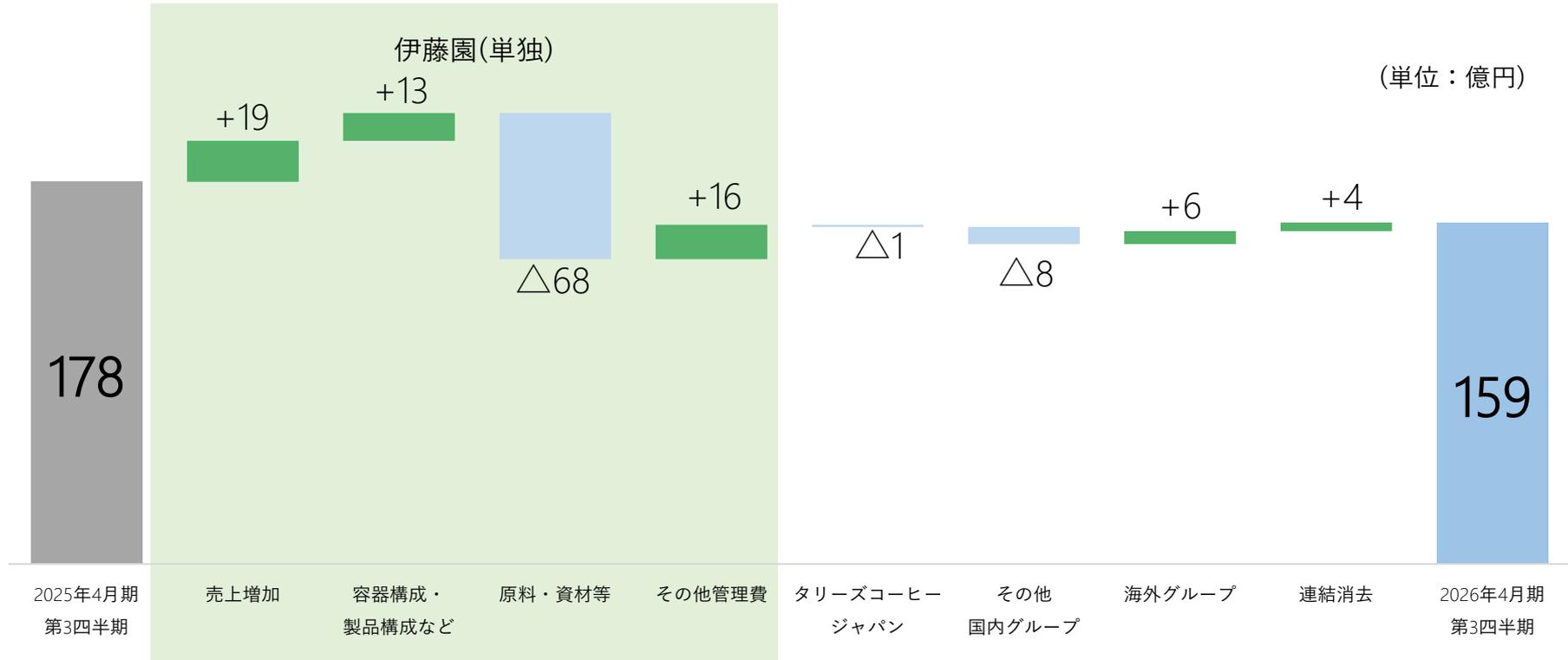
(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2025年4月期	2026年4月期			2025年4月期	2026年4月期		
	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
伊藤園 (単独)	256,087	261,588	5,501	2.1%	10,778	8,776	△ 2,002	-18.6%
タリーズコーヒー	32,967	35,365	2,397	7.3%	3,036	2,930	△ 105	-3.5%
チチヤス	9,830	9,165	△ 665	-6.8%	979	733	△ 245	-25.1%
国内グループ	92,073	91,430	△ 642	-0.7%	4,770	3,854	△ 915	-19.2%
茶関連事業会社	15,142	15,779	636	4.2%	1,810	1,645	△ 164	-9.1%
※	99,010千ドル	105,174千ドル	6,164千ドル	6.2%	11,838千ドル	10,970千ドル	-868千ドル	-7.3%
米国事業	38,574	49,169	10,594	27.5%	1,433	2,091	658	45.9%
	252,220千ドル	327,728千ドル	75,507千ドル	29.9%	9,371千ドル	13,942千ドル	4,571千ドル	48.8%
その他海外事業	5,347	5,816	468	8.8%	1,102	1,046	△ 56	-5.1%
海外グループ	43,922	54,985	11,063	25.2%	2,535	3,138	602	23.8%
連結消去	△ 31,190	△ 28,528	2,662	-	△ 275	198	474	-
連結	360,893	379,477	18,584	5.1%	17,808	15,967	△ 1,841	-10.3%

為替レート (米ドル) 152.94 150.03 (期中平均)

※ ITO EN (North America) INC.とITO EN (Hawaii) LLCの合計値

2026年4月期 第3四半期実績（連結） 営業利益増減の主な要因

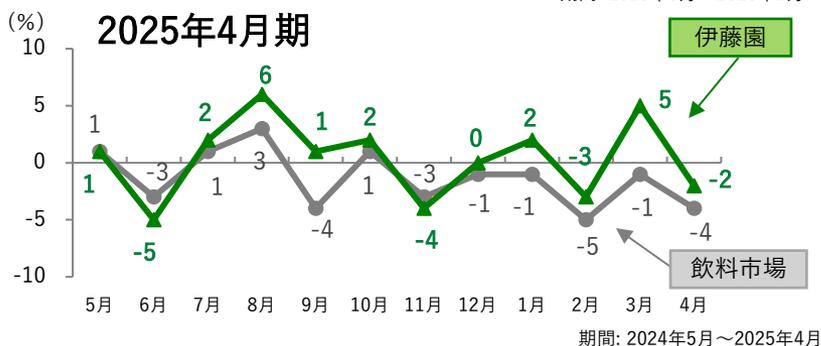
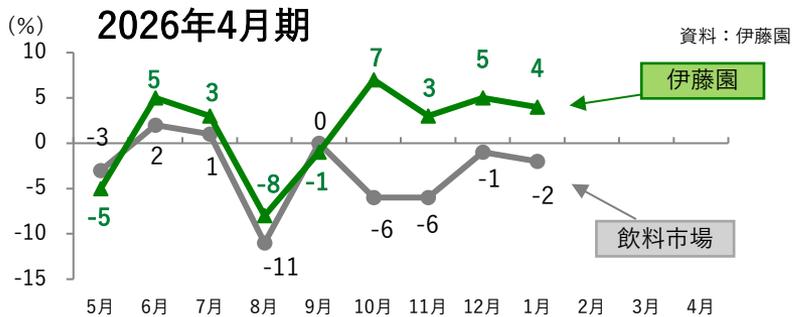


伊藤園(単独)の増減要因補足

- | | | | |
|------------------|------|------------------|------|
| • 売上増加による影響 | + 19 | • 原料・資材等の高騰による影響 | △ 68 |
| • 容器構成及び製品構成等の変化 | + 13 | • 広告宣伝費の削減など | + 16 |

国内飲料市場と当社の動向

月次販売数量動向 (対前年増減率)

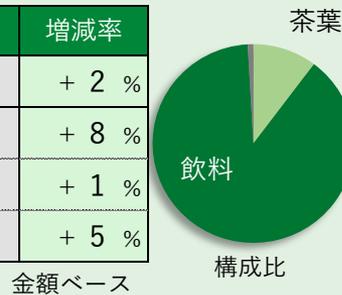


飲料市場のトピックス

- 2025年 8月 物価高や猛暑に加え、前年の地震情報による備蓄反動、稼働日減少など複数のマイナス要因の重なり。
- 9月 猛暑の和らぎによる適度な止渴需要の発生。一方、物価高の影響で大型PETや水・茶系カテゴリーは不振。
- 10月 低気温が寄与してホット飲料が好調に推移した一方、業界一斉値上げによるマイナス影響でほぼ相殺。
- 11月 新製品が堅調に推移したが、競合のサイバー攻撃に伴う影響等により、10月に続き市場全体がマイナス基調。
- 12月 年末年始休暇が長かった影響で年末需要が上振れ。
- 2026年 1月 降雨量の少なさによる屋外飲用の促進。複数ブランドの積極的なマーケティングも寄与し、全体を押し上げ。

伊藤園 (単独) 2026年4月期 第3四半期 (2025年5月～2026年1月)

	増減率
売上高	+ 2 %
茶葉 (リーフ)	+ 8 %
飲料 (ドリンク)	+ 1 %
他	+ 5 %



金額ベース 構成比

飲料 (ドリンク) 販売数量

(単位：万ケース)

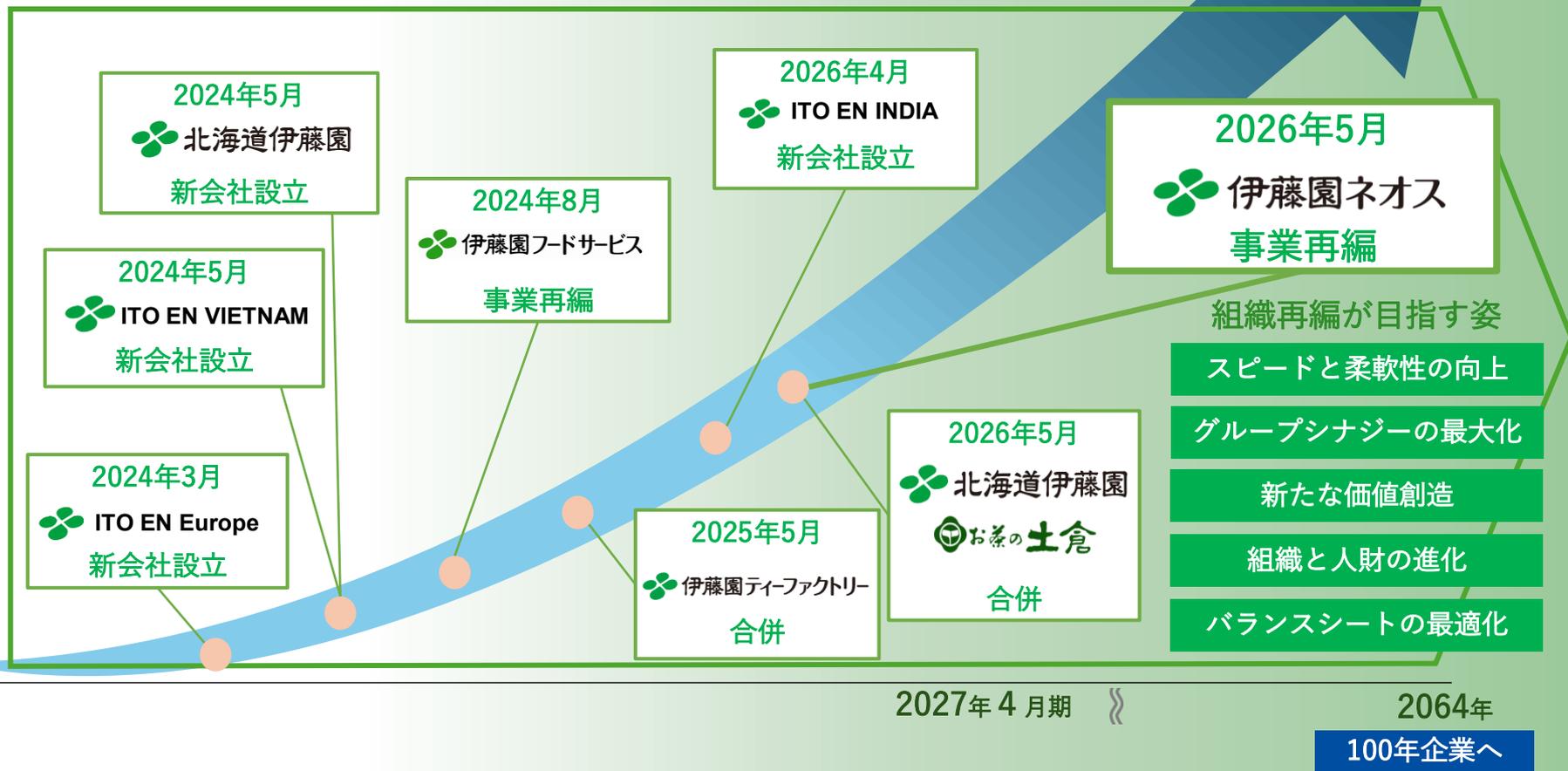
カテゴリー別 飲料販売数量	2025年4月期			2026年4月期		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率
飲料 (ドリンク)	16,821	100 %	+ 1 %	16,979	100 %	+ 1 %
茶系飲料 計	11,786	70 %	△ 0 %	12,110	71 %	+ 3 %
日本茶	10,560	63 %	△ 1 %	10,845	64 %	+ 3 %
緑茶	7,312	43 %	△ 1 %	7,331	43 %	+ 0 %
むぎ茶	3,247	19 %	△ 1 %	3,513	21 %	+ 8 %
中国茶	740	4 %	+ 7 %	745	4 %	+ 1 %
その他	486	3 %	+ 5 %	519	3 %	+ 7 %
野菜飲料	1,790	11 %	△ 4 %	1,659	10 %	△ 7 %
コーヒー飲料	1,420	8 %	+ 9 %	1,509	9 %	+ 6 %
ミネラルウォーター	611	4 %	+ 26 %	592	3 %	△ 3 %
炭酸飲料	423	3 %	△ 11 %	333	2 %	△ 21 %
果実飲料	389	2 %	+ 2 %	399	2 %	+ 2 %
その他飲料	399	2 %	△ 1 %	374	2 %	△ 6 %

2026年4月期 第3四半期 無糖飲料比率 75%以上

伊藤園グループ組織再編

持続的成長への布石～構造改革～

伊藤園グループの持続的な企業価値向上のための変革



持続的成長に向けた自動販売機事業再編

持続的成長に向けた自動販売機事業の再編について

グループ
事業再編

×

生産性
効率性 向上

=

1台当たりの収益性を高め、
持続的に利益を創出できる
ビジネスチャネルへの進化

背景 働き方や購買行動の変化など自動販売機事業を取り巻く外部環境が大きく変化

 伊藤園

伊藤園の自動販売機事業

地域密着型の営業力・販売網

事業
再編

 NOOS

ネオス

アライアンス構築力

 伊藤園ネオス

- 生産性を向上させ、収益改善を図る
- 社会環境や顧客ニーズの変化に迅速に対応
- 営業・製品・オペレーションの各分野を強化

改革の
要点

効率性向上

オペレーション統合、ルート最適化

製品ラインアップの最適化

自動販売機専用製品の精査、SKU数削減、
ロケーションに応じた最適なラインアップ提案の強化

新領域への事業拡張

飲料に加え、食品販売を組み合わせた
新たな事業モデルの展開

「お〜いお茶」の取組み

「お〜いお茶」の拡販政策

▼2026 World Baseball Classic™の観戦チケットがあたる！
お〜い、超プレミア「観戦チケットを当てよう！」キャンペーン



2026年1月22日〜2月3日
代表戦全4試合（東京開催）を観戦できる
プレミアムなペアチケットが1組2名に当たる



2026年2月9日〜3月10日
1次ラウンド（東京）および最終ラウンド
（マイアミ）観戦ペアチケットが
120組240名に当たる

▼2月23日発売
「お〜いお茶」大谷翔平ボトル（開催記念ver.）
走・攻・守の大谷選手を19製品で展開



<ドリンク9製品>

<リーフ10製品>

おいしさと健康性で伸長「お〜いお茶 濃い茶」

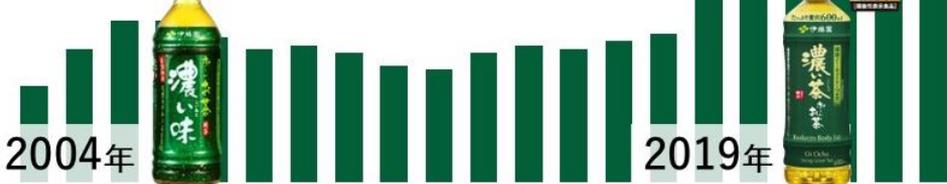
▼機能性表示食品飲料市場
売上本数No.1「お〜いお茶 濃い茶」シリーズ（※1）

“キレのある濃さ”と渋みの味わいに幅広い世代の支持が拡大

お〜いお茶 **濃い茶**

2025年 累計販売本数 **100億本** 突破

※500mlペットボトル換算



2024年発売
お〜いお茶 濃い茶
PREMIUM STRONG

▼2月9日
「お〜いお茶 濃い茶」パッケージリニューアル



さらなる飲用層の拡大に向けて、
BMIが高めの方の**体脂肪を減らす**
ガレート型カテキンの機能を
より視認しやすく表現

「お〜いお茶」 海外の販売状況

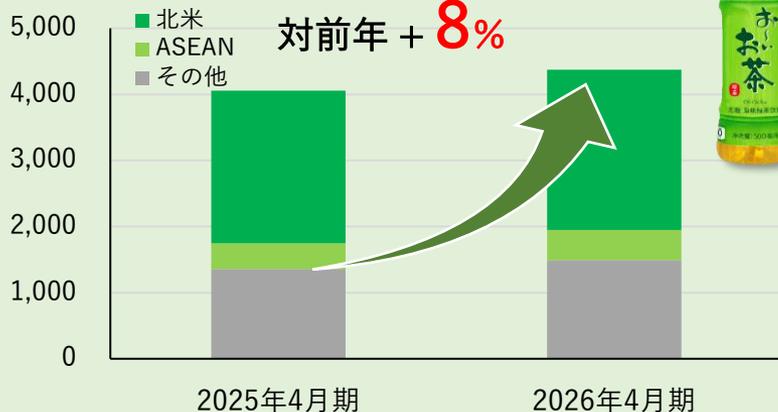
地域別「お〜いお茶」販売状況

▼「お〜いお茶」飲料販売数量の推移

(千ケース)

2026年4月期実績

対前年 + 8%



資料：伊藤園（期間：5月～1月）

《地域別飲料販売数量増減》

前年比

北米事業	+ 5 %
ASEAN事業	+ 17 %
その他事業	+ 10 %

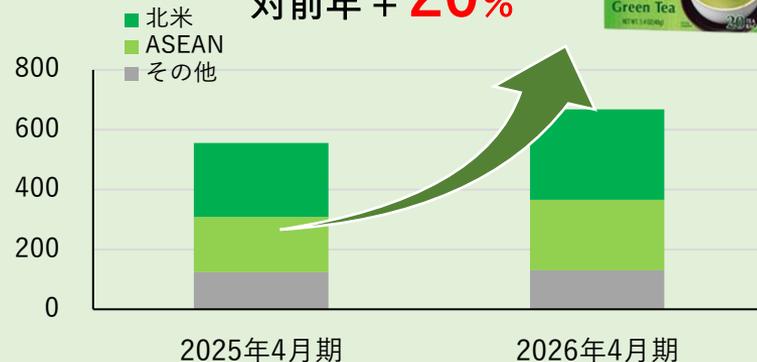
海外グループ計 + 8%

▼「お〜いお茶」ティーバッグ販売数量の推移

(千化粧箱)

2026年4月期実績

対前年 + 20%



資料：伊藤園（期間：5月～1月）

《地域別ティーバッグ販売数量増減》

前年比

北米事業	+ 22 %
ASEAN事業	+ 28 %
その他事業	+ 5 %

海外グループ計 + 20%

2026年4月期 通期予測 (連結・単体)

通期(2025年5月～2026年4月)

(単位：百万円)

	2025年4月期	2026年4月期			
	実績	予測	増減額	増減率	
連 結	売上高	472,716	495,000	22,283	4.7%
	売上総利益	179,638	179,300	△ 338	-0.2%
		38.0%	36.2%	-1.8%	
	広告宣伝費	12,784	11,982	△ 802	-6.3%
		2.7%	2.4%	-0.3%	
	運送費	14,503	15,452	949	6.5%
		3.1%	3.1%	0.1%	
	減価償却費	6,396	5,951	△ 444	-7.0%
		1.4%	1.2%	-0.2%	
	販売費及び一般管理費	156,668	159,300	2,631	1.7%
	33.1%	32.2%	-1.0%		
営業利益	22,969	20,000	△ 2,969	-12.9%	
	4.9%	4.0%	-0.8%		
経常利益	22,973	21,000	△ 1,973	-8.6%	
	4.9%	4.2%	-0.6%		
特別損益	△ 742	△ 16,000	-	-	
当期純利益	14,156	1,000	△ 13,156	-92.9%	
	3.0%	0.2%	-2.8%		

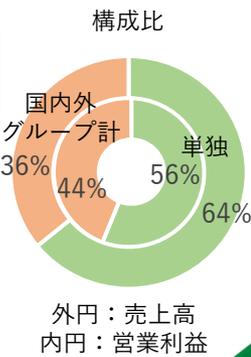
	2025年4月期	2026年4月期			
	実績	予測	増減額	増減率	
単 独	売上高	334,800	343,000	8,199	2.4%
	売上総利益	114,477	110,000	△ 4,477	-3.9%
		34.2%	32.1%	-2.1%	
	販売費及び一般管理費	99,575	99,000	△ 575	-0.6%
		29.7%	28.9%	-0.9%	
	営業利益	14,902	11,000	△ 3,902	-26.2%
		4.5%	3.2%	-1.2%	
経常利益	16,489	14,000	△ 2,489	-15.1%	
	4.9%	4.1%	-0.8%		
当期純利益	11,667	400	△ 11,267	-96.6%	
	3.5%	0.1%	-3.4%		

グループ会社の業績・グループ全体の収益構成比

通期(2025年5月～2026年4月)

(単位：百万円)

	2025年4月期	2026年4月期		
	実績	予測	増減率	
上段：売上高				
下段：営業利益				
グ ル ー プ	国内グループ	121,227	120,163	-0.9%
		5,266	4,408	-16.3%
	海外グループ	58,766	71,955	22.4%
	3,007	4,193	39.4%	



2026年4月期 通期予測（グループ会社）

通期（2025年5月～2026年4月）

（単位：百万円）

	売上高				営業利益			
	2025年4月期 実績	2026年4月期 予測	増減額	増減率	2025年4月期 実績	2026年4月期 予測	増減額	増減率
伊藤園（単独）	334,800	343,000	8,199	2.4%	14,902	11,000	△ 3,902	-26.2%
タリーズコーヒー	43,784	46,580	2,795	6.4%	3,518	3,530	11	0.3%
チチヤス	12,885	12,169	△ 716	-5.6%	1,230	1,030	△ 200	-16.3%
国内グループ	121,227	120,163	△ 1,063	-0.9%	5,266	4,408	△ 858	-16.3%
茶関連事業会社	19,733	20,237	503	2.6%	2,205	2,296	90	4.1%
※	129,956千ドル	134,918千ドル	4,962千ドル	3.8%	14,523千ドル	15,308千ドル	785千ドル	5.4%
米国事業	51,645	64,520	12,875	24.9%	1,670	2,930	1,260	75.4%
	340,106千ドル	430,137千ドル	90,030千ドル	26.5%	10,999千ドル	19,536千ドル	8,537千ドル	77.6%
その他海外事業	7,120	7,434	314	4.4%	1,337	1,262	△ 74	-5.6%
海外グループ	58,766	71,955	13,189	22.4%	3,007	4,193	1,185	39.4%
連結消去	△ 42,077	△ 40,119	1,958	-	△ 206	398	605	-
連結	472,716	495,000	22,283	4.7%	22,969	20,000	△ 2,969	-12.9%

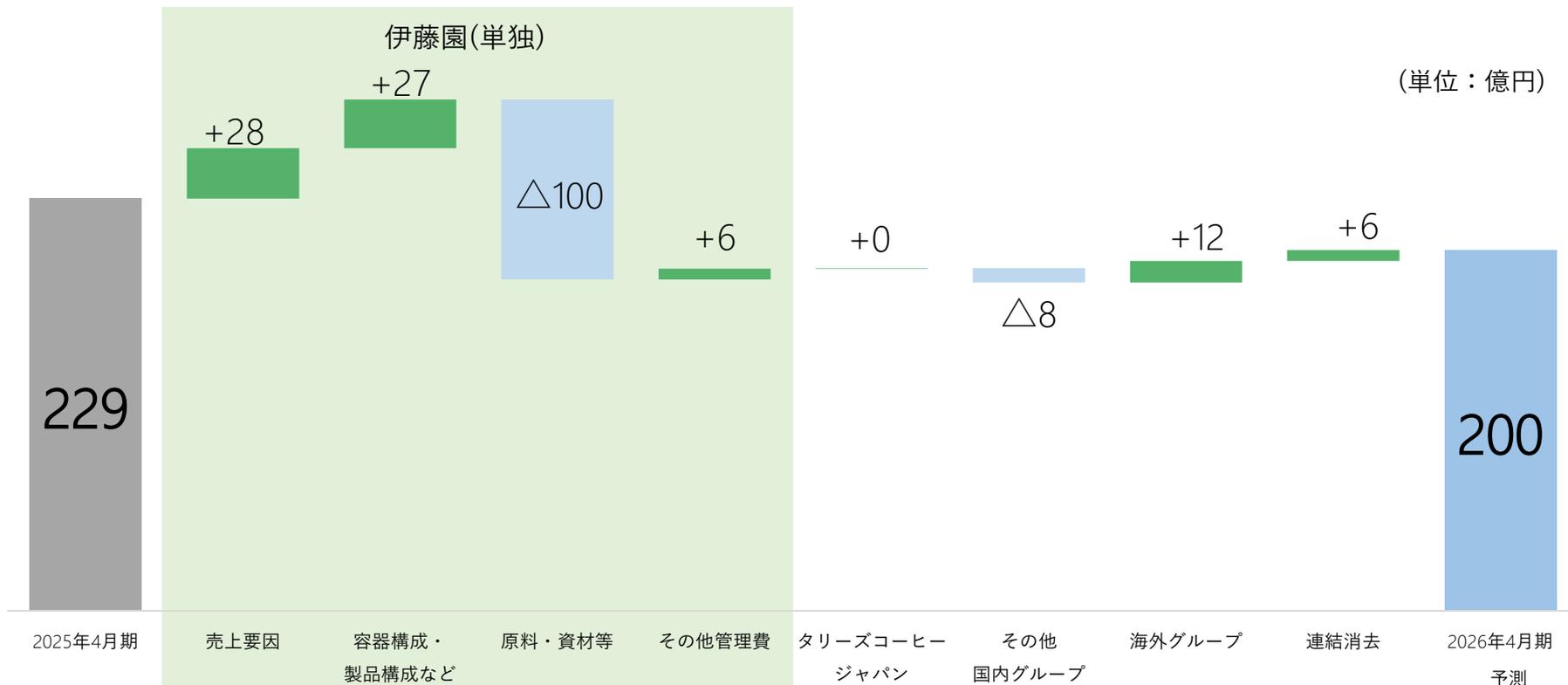
為替レート（米ドル） 151.85 150.00（期中平均）

※ ITO EN（North America）INC.とITO EN（Hawaii）LLCの合計値

連結 営業利益増減要因 (通期予測)

2026年4月期 通期予測 (連結) 営業利益増減の主な要因

原料等の高騰に対し、価格改定を含む収益改善で吸収出来ず、業績を見直し。



伊藤園(単独)の増減要因補足

- ・売上増加による影響 + 28
- ・容器構成及び製品構成等の変化 + 27

- ・原料・資材等の高騰による影響 △ 100
- ・賃上げによる人件費の増加 △ 5
- ・マーケティング・販売促進など + 9

参考：伊藤園（単独）の状況

飲料カテゴリー別販売実績

(単位：万ケース)

2026年4月期	第1四半期(5月～7月)			第2四半期(8月～10月)			第3四半期(11月～1月)		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率
飲料（ドリンク）	6,132	100.0%	+1%	6,170	100.0%	△1%	4,676	100.0%	+4%
茶系飲料計	4,450	72.6%	+3%	4,444	72.0%	+1%	3,216	68.8%	+6%
日本茶	4,015	65.5%	+2%	4,001	64.8%	+1%	2,828	60.5%	+6%
緑茶	2,588	42.2%	+1%	2,584	41.9%	△2%	2,158	46.1%	+3%
むぎ茶	1,426	23.3%	+6%	1,416	23.0%	+6%	670	14.3%	+19%
中国茶	261	4.3%	+3%	274	4.5%	△1%	209	4.5%	+0%
その他	173	2.8%	+12%	168	2.7%	+2%	178	3.8%	+7%
野菜飲料	575	9.4%	△8%	595	9.7%	△6%	487	10.4%	△7%
コーヒー飲料	514	8.4%	+9%	542	8.8%	+3%	452	9.7%	+7%
ミネラルウォーター	197	3.2%	+2%	210	3.4%	△10%	185	4.0%	+1%
炭酸飲料	117	1.9%	△29%	128	2.1%	△26%	87	1.9%	+3%
果実飲料	148	2.4%	△1%	131	2.1%	△8%	119	2.5%	+23%
その他飲料	128	2.1%	△3%	117	1.9%	△12%	128	2.7%	△4%

飲料容器別販売実績

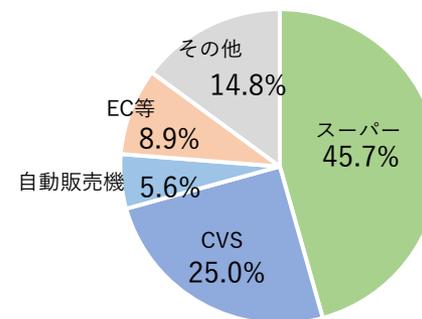
(単位：万ケース)

2026年4月期	第1四半期(5月～7月)		第2四半期(8月～10月)		第3四半期(11月～1月)		
	実績	増減率	実績	増減率	実績	構成比対前年	増減率
飲料販売数量	6,132	+1%	6,170	△1%	4,676	-	+4%
缶	616	+1%	646	+3%	582	△0pt	+4%
大型PET	1,921	+4%	1,993	+1%	1,345	+0pt	+8%
小型PET	2,908	+0%	2,851	△3%	2,218	△0pt	+4%
紙パック	650	△3%	648	△5%	509	△0pt	△2%
その他	36	△4%	31	△13%	21	△0pt	△21%

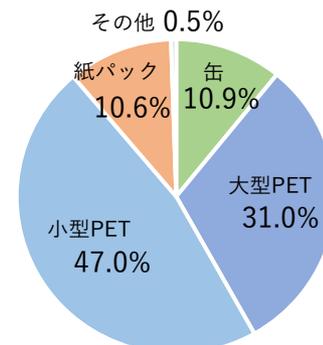
飲料チャネル別構成比

第3四半期(2025年5月-2026年1月)(数量ベース)

	構成比対前年	増減率
スーパー	+1pt	+3%
CVS	△0pt	△1%
自動販売機	△1pt	△13%
EC等	+1pt	+7%
その他	+0pt	+1%



チャネル別構成比
(第3四半期累計)



容器別構成比
(第3四半期累計)

 伊藤園

自然が好きです。

当資料は、あくまで伊藤園をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。
さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、
将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。